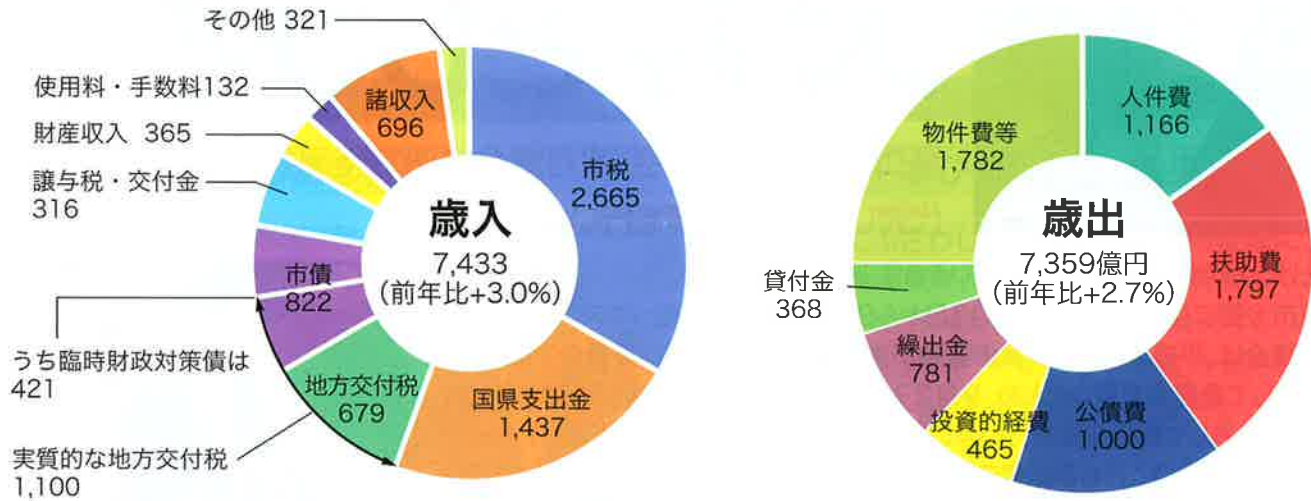


## ～ 第2回定例市会 9月議会報告 ～

「行財政改革2015」に基づく取り組みを着実に実行した結果、人件費や外郭団体の削減により、平成24年度の決算は、2年連続で、財源対策によることなく実質収支19億8,500万円の黒字を確保しました。

しかしながら、平成23年度決算と比べると、歳入では、評価替えにより固定資産税・都市計画税が64億円の減になった影響等などにより、市税全体では33億円の減となりました。歳出では、生活保護費など扶助費が増加する一方で、人件費、公債費の削減により「義務的経費」が87億円の減となっており、改善がなされているとはいえ、歳入は伸び悩んでいる状況であり、歳出は抑制が続いています。

### ■一般会計歳入歳出決算(平成24年度) (単位:億円)



## ◆平成24年度にかかった事業別行政コスト◆

平成22年度決算から新たな取り組みとして、作成しているものです。当該事業に要する人件費などを含めたコストと、それに対する受益者負担や一般財源(税金など)の充当の状況を明らかにしています。

市民の皆様の市政に対する理解を深めていただくとともに、職員のコスト意識を向上させ、市民の視点で透明性の高い行政運営の実現に努めることを目的としています。

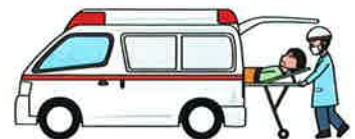
### ゴミ収集

- ◆ごみ収集全体のコスト ..... 105億6,174万円
  - ◆1世帯(※)あたりのコスト ..... 14,464円
  - ◆市民1人あたりの市税等の投入額 ..... 6,811円
- ※H25.3.31現在 730,204世帯



### 救急業務

- ◆救急事業全体のコスト ..... 44億257万円
- ◆救急隊出動件数1件あたりのコスト ..... 58,089円
- ◆市民1人あたり市税等の投入額 ..... 2,835円



### 放置自転車対策

- ◆放置自転車対策(撤去)事業コスト ..... 2億6,879万円
- ◆自転車及び原付1台あたりのコスト ..... 7,899円
- ◆市民1人あたりの市税等の投入額 ..... 140円



※参考：神戸市ホームページの「事業別行政コスト計算書」の中に上記を含む26項目が掲載されています。